

むらたまち

議会だより



舞い込んだ、舞い込んだ
福の神が舞い込んだ（関場七福神、小正月）

- 平成28年12月定例会 … 2

- ズバリ！町政を問う【一般質問 7人】 … 6

- 行政視察研修レポート … 14 他

Vol.102

2017.2.1.

22 案件を 議決

平成28年 第6回 定例会

条
例



■ 特別職の職員で常勤のもの
の給与及び旅費に関する条例
の一部を改正する条例

■ 復興産業集積区域における
固定資産税の課税免除に関する
条例の一部を改正する条例

平成28年8月8日付けの人事院勧告を受け、期末手当の支給に関する事項を改定するため条例の一部を改正するもの。

■ 議会の議員報酬及び費用弁償等の支給に関する条例の一
部を改正する条例

平成28年8月8日付けの人事院勧告を受け、期末手当の支給に関する事項を改定するため条例の一部を改正するもの。

■ 上下水道課設置に伴う関係
条例の整理に関する条例

水道事業、公共下水道事業及び農業集落排水事業等を統合する上下水道課の設置に伴い、関係条例を改正するもの。

【討論なし・原案可決】

■ 旧教育委員会教育長の給与及び勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

平成28年8月8日付けの人事院勧告を受け、期末手当の支給に関する事項を改定するため条例の一部を改正するもの。

【討論なし・原案可決】

ため条例の一部を改正するもの。
【討論なし・原案可決】

ため条例の一部を改正するもの。
【討論なし・原案可決】

12月定例会は、6日から7日までの2日間行われました。専決処分の報告承認3件、条例の制定1件、条例の一部改正8件、関係条例の整理に関する条例1件、補正予算4件、その他2件が提案されました。また議員発議案として意見書3件が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決決定されました。

さらに、7人の議員が一般質問を行い町の対応や考えを問い合わせました。

12月定例会は、6日から7日までの2日間行われました。専決処分の報告承認3件、条例の制定1件、条例の一部改正8件、関係条例の整理に関する条例1件、補正予算4件、その他2件が提案されました。また議員発議案として意見書3件が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決決定されました。

さらに、7人の議員が一般質問を行い町の対応や考えを問い合わせました。

■ 村田町職員の退職管理に関する条例の制定について

地方公務員法及び地方独立法人法の一部を改正する法律が施行され、地方公務員の退職管理の適正を確保するため、職管理に関する規定が新たに設けられたことに伴い、本条例を制定するもの。

【討論なし・原案可決】



「町の宝」子どもたちに
もっと笑顔を

東日本大震災復興特別区域法第43条の地方税の課税免除または不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令が一部改正されたことに伴い、適用期限を延長するもの。

【討論なし・原案可決】

【討論なし・原案可決】

こんなことが決定されました。

■村田町国民健康保険税条例 の一部を改正する条例

外国人等の国際運輸業に係る所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する改正を行うもの。

【討論なし・原案可決】

補正予算

平成28年度村田町一般会計 補正予算（第3号）

歳入においては、主に地方交付税の増額等を措置し、歳出においては、主に給与改定に伴う人件費等の経費のほか、その他所要の経費を措置するため補正するもの。

【討論なし・原案可決】

質疑

町道整備について、松山寺線は当初予算7千500万円であったが、社会資本整備総合交付金の2千508万円が減額された、4千82万円で請負契約されている。差額を減額補正したのか。

答 今日は事業費割64%ほど4千800万円の内示額となつた。松山線については、平成29年度をもつて完成したいということで、県と協議をしている。

問

職員駐車場も含めて、県南中核病院村田診療所の来院者用の駐車場が狭い。診療所利用者と来院者分のスペースの確保はできないものか。

答 業務委託料、管理事務費等が含まれ、この合計から福祉センター使用料を差し引いた金額、284万8千円を計上している。

答 委託料について、今回初めて指定管理料を計上したのか。

答 今年度の委託料は、水道光熱費、消耗品、清掃

答

東庁舎については患者の駐車を優先し、また、別な場所で個人医院の駐車場を中核で借りて確保している。職員駐車場もロープを引くことで効率よく車を止めることが可能となつたら、東庁舎等への来院者にも一部開放したい。



地域福祉センター



地域福祉センターについて、日曜日も町民が自由に使える体制づくりと予算措置の考えはあるか。

答 規則では、土・日は開放しないことになつている。委託先の職員が管理しているので、色々な角度から考えたいとは思つてている。

問 村田町一般職員の総括

の人数について、補正では152人になつていて、対前年比で何人職員が増えたのか。

答 一般職の152人の中には教育長も含まれ、職員の場合は教育長1人を除き、介護保険事業で1人、水道事業で6人、派遣職員2人で職員は160人になる。対前年比では163人なので3人減

こんなことが決定されました。

問 村田町職員定数条例では職員の人数は何人か。

答 職員の条例定数は合計で185人。現在は160人である。



問 法人町民税が減額された理由は、税率が変わったものと理解するが、1号法人から8号法人まで撤退した事業者数と関係はあるのか。

答 事業者数については前年並みである。法人については均等割と法人税割があり、法人税割の引き下げ、企業業績の落ち込みが3、4割ある。決算ベースで4千円くらいの落ち込みとなり、今回1千500万円減額補正をした。



■ 平成28年度村田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

283万4千円追加

歳入においては、主に国民健康保険税及び繰入金を措置し、歳出においては、主に高額療養費を措置するため補正するもの。

【討論なし・原案可決】

■平成28年度村田町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

171万円を追加

介護保険の段階の判定に関する基準が改正されることに伴い、介護保険システム改修委託料のほか、所要の経費を措置するため補正するもの。

【討論なし・原案可決】

■平成28年度村田町上水道事業会計補正予算（第1号）

収益的収入及び支出予定期において、民間資金等活用事業調査費補助事業に係る所要額を措置するため補正するもの。

【討論なし・原案可決】

その他

工事請負変更契約の締結について

工事名 平成27年度七曲跨道橋補修工事

施行場所 大字足立地内

変更事項 契約金額

原契約金額 5千832万円

変更契約金額 5千766万6千600円

変更による減額 65万3千400円

▼契約の相手方 シヨーボンド建設株式会社 南東北支店
支店長 米野 泰広

【討論なし・原案可決】

■損害額を定め和解することについて

【討論なし・原案可決】

■損害賠償の額を定め和解することについて専決処分の報

3件とも交通事故によるもので、損害賠償の額を定めて和解することで合意した。

問 景気低迷のため法人税が入らず、町税が1千500万円減額となつたことは町にとって痛手である。このことについてどう思われるのか。

答 町の財源である町税の減収は財政的に厳しい。財政調整基金で穴埋めということがある。收支のバランスを行っていく。

適正な人員配置を

■損害賠償の額を定め和解することについて専決処分の報

3件とも交通事故によるもので、損害賠償の額を定めて和解することで合意した。

意見書・要望書を提出いたしました

「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書」

昨年実施された統一地方選挙において、町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選が増加するなど、住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。

こうした中、地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにすることが、議員を志す新たな人材確保につながっていくと考える。よって、国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

＜提出先＞衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣

「高額療養費、後期高齢者の窓口負担等患者負担見直しの慎重審議と現行制度の継続を求める意見書」

厚生労働省の社会保障制度審議会では、高額療養費制度の月額自己負担上限の引き上げや後期高齢者の自己負担を原則1割から2割に引き上げるなどの更なる患者負担増が検討されております。また、財務省の財政制度等審議会でも改革の方向性として、外来時の定額負担の導入や入院時の光熱水費相当額の徴収など、新たな患者負担増が提言されております。

これらは、多くの国民から医療を遠ざけるばかりでなく、複数の疾病を抱える患者や治療が長期にわたる高齢者等の生活基盤そのものを圧迫するものであります。

このような状況を踏まえ、本議会は下記の事項を強く要望します。

- 更なる患者負担増による受診抑制を招かないために、慎重審議と現行制度を継続すること。

＜提出先＞内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、総務大臣

「有害鳥獣(イノシシ)駆除対策に係る補助拡充等を求める意見書」

イノシシの生息域は拡大の一途を辿っており、現在では宮城県北部まで広がりをみせております。イノシシ生息域の拡大により、農作物等に深刻な被害を及ぼしていることは周知のとおりであります。また、イノシシ駆除頭数の増により、埋設するための労働力不足や環境の悪化も懸念されております。

町においても種々の対策を講じておますが、捕獲数が繁殖数に到底追いついていない状況となっております。

このような状況を踏まえ、本議会はイノシシ個体数の更なる削減や農作物の被害軽減、人的被害防止の観点から、宮城県に対して下記の事項を強く要望します。

- 狩猟免許取得促進と捕獲機材の充実を図るため、宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金の予算を増額すること。
- 県内各自治体間の猟友会が、より機能的な連携を図ることができる制度の創設と所要の予算措置をすること。

＜提出先＞宮城県知事



捕獲されたイノシシ

ズバリ 町政を問う 一般質問



1. 農道・農業用水路の整備について 2. 人口減少を食い止める施策について

渡辺元道議員

1. 農道・農業用水路の整備について

質問 農業振興には施設整備が欠かせません。特

に水田農業は農道と用水路が的確に機能することが重要ですが、耕地整理から数十年が経過し、町内のところどころで機能低下している箇所が見られます。

長年にわたつて用水路の幅が広まり、農道が狭められ、軽トラックがやつと通る状態の箇所があります。そこでは、数回自動車が脱輪し用水路に落ちる事故が起きています。また、冬期も積雪や凍結による脱輪事故がたびたび起っています。

町は農道や用水路の状況を巡視し、地区民の声に耳を傾け適切に管理することが必要です。農道幅の確保と用水路の保全のために、U字溝の敷設をするなどの考えはない

町長答弁



農業用水路整備の充実を
町長答弁
地域からの要望や実情
皆まとめて取り組む

2. 人口減少を食い止め

質問 村田町地方創生継 る施策について

町長答弁

組合方式による宅地造成事業や民間における宅地造成、建売住宅について検討している

第一と考え、「子育て・教育」環境の充実を最優先としています。

卷之三

具体的な施策として、定住促進補助金の拡充や、定住促進住宅の活用、子育て賃貸住宅家賃補助などですが、住宅用地の拡充策はどうなっているのでしょうか。

より定住を確実なものにするために、また、遊休未利用の公有財産の有効活用を図る観点からも、宅地造成の早期の事業化を検討しているところです。

土側溝からコンクリート側溝への更新に取り組んでいるところです。

狭い農道についても、側溝敷設による幅員の確保は、用排水路の整備と一体となるため、整備効果は大きいものと思われます。コンクリート側溝

の敷設希望も多く寄せられており、極力要望に応えられるよう努めてまいります。

そこで、優良な宅地を
町が造成するなど、人口
増加につながる具体的な
方策を伺います。

ズバリ町政を問う

一般質問



1. 沼辺幼稚園の老朽化について 2. 町内温泉施設の利活用について

大内敬子議員

1. 沼辺幼稚園の老朽化について

質問 沼辺幼稚園の園舎は老朽化が進んでおり、床はへこみ、段差があり風で細かい砂が入り込むなど、子どもたちを安心して預けられない状況にあると感じる。

子どもたちはもちろん、現場の先生の負担は想像以上であると思う。これらを踏まえ、次の質問に答弁を求める。

1 沼辺幼稚園の園舎の建て替え、あるいは大規模修繕をする考えはあるか。あるとすればどの程度まで修繕できるか。

2 先生方の負担軽減を図る考えはあるか。

3 給食センターから園児に給食を提供する機会は設けられないか。

4 遊具も安全に遊べるよう配置すべき。狭い園庭を広げることはできないか。

質問 沼辺幼稚園の園舎は老朽化が進んでおり、床はへこみ、段差があり風で細かい砂が入り込むなど、子どもたちを安心して預けられない状況にあると感じる。

子どもたちはもちろん、現場の先生の負担は想像以上であると思う。これらを踏まえ、次の質問に答弁を求める。

1 沼辺幼稚園の園舎の建て替え、あるいは大規模修繕をする考えはあるか。あるとすればどの程度まで修繕できるか。

2 先生方の負担軽減を図る考えはあるか。

3 給食センターから園児に給食を提供する機会は設けられないか。

4 遊具も安全に遊べるよう配置すべき。狭い園庭を広げることはできないか。

教育長答弁

1 沼辺幼稚園の園舎は、築45年を経過し、老朽化はしているが、これまで屋根やトイレの改修など必要に応じて補修を行つてきた。施設の今後については児童福祉施設の整備計画の策定に基づいて検討したい。

2 強風の折、窓から細かい砂が入り、清掃が必要なこともあるが、沼辺幼稚園に限らず村田幼稚園でも、状況に応じ、みんなで協力し合つて清掃してもらっている。

3 学校給食センターは、義務教育学校における学校給食施設の整備を目的とする国庫補助を受けており、原則的に幼稚園への給食提供はできない。ただし、幼稚園では小学校を会場に給食体験を行うこともある。

町長答弁

高齢者が住みなれた村田町で自分らしく元気に生活し続けられるように

現在、児童福祉施設の整備計画として、幼稚園、保育所合わせて、どうすればか検討しているところである。未就学児の施設づくりも含め、今年度中には整備計画をまとめたい。

高齢者が住みなれた村田町で自分らしく元気に生活し続けられるように気軽に温泉施設を利用していくこと、高齢者の方々が集まる場所の提供や健康増進の機会の確保につながると期待できることから、より利用しやすい事業として、来年度からの実施に向け作業を進めていく。

2. 町内温泉施設の利活用について

質問 本年6月議会で、町長は、他町村の事例などを調査し、より利用しやすい方法や機会を作つていけるよう考えると答弁されたが、その後どの

追質問 こんなに老朽化した園舎は他に見たことがない。他町の子育て施設をよく見ていただいた上で、「子は宝である」ということを念頭に、保育所も含め、いかにして良い環境で子どもを育てるかを最重点的に考え、

よう考へ進められたか。

高齢者の健康増進のためにも、温泉の入浴料が安ければ、デマンドタクシーも含め、利用者は多くなると思うが町長の考えは。

ズバリ町政を問う

一般質問



東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質で汚染された汚染廃棄物処理について

高橋 勝議員

質問1

本町における放射性セシウム濃度8千ベクレル以下の汚染廃棄物は、「稻わら」と、「ほど木」を合わせ310・2トンと理解しているが、現在、これらはどのように保管方法がとられているのか。

町長答弁

「稻わら」の保管者数は1人で、保管場所は1カ所、ラップフィルムで被覆した上で、ブルーシートで覆い保管している。「ほど木」は12人で23カ所に集積され、本数は4万4千本、山林等で露天にて保管している。



質問2

焼却処理する場合、近隣の市の施設において処理されると思うが、地元の理解が重要である。住民説明に対して、国や県の協力がどの程度まで得られるものか。

町長答弁

基本的な考え方として、放射性廃棄物の保管の処理問題を県全体で克服するため、汚染廃棄物の有無にかかわらず、国と県及び県内自治体が協力を進め、県が調整を図っている。

必要に応じて、不安を感じている住民に対し出向いて説明を行っている。このほか、処理についての指導や助言も含め市町村と国及び県が一体となり、既に県内いくつかでは説明会を行っている。

町長答弁

市町村による処理も含めて、安全で安心に処理できる方法を検討し、その実現に向けています。負担については、環境省の「農林業系廃棄物の処理加速化事業」において2分の1が国からの補助となり、残り2分の1は、震災復興特別交付税で全額措置されると聞いている。「混焼」による処理施設までの運送等に

はどの方法で処理をするのか。また、その費用は各自治体が負担しなければならないのか。

質問3

シタケのほど木
焼却以外の方法も考えられるが、本町は現時点で



要する経費が本町負担となるが、実質負担額はないと思われる。

町長答弁

指定廃棄物や未指定廃棄物の処理に関しては、未だ最終処分場建設の進展が見えないが、国が責任を持つて早期に進めていくべきと考えている。市町村等が処理主体となる8千ベクレル以下の処理についても、費用の全額負担や、科学的に安全に処理できるよう技術的な支援も含め、国と県に求めていく。

ズバリ町政を問う

一般質問



1.平成29年度予算編成方針の主眼は何か 2.遊休農地の解消と農地の有効活用について

大沼吉隆議員

先線の見えない高田閑場線



長年耕作されていない畠に、
今年度蕎麦が作付けされた



農業委員会局長答弁
今後、農業者だけでなく、
町民全体のニーズや要
望として総合的な観点か
ら検討をする。

集会所でのそば打ち体験会



平成29年度予算編成方針
の主眼及び遊休農地の解
消と農地の有効活用につ
いて

質問 29年度予算編成方
針の主眼をどこに置いて
いるものか伺う。

町長答弁

予算編成方針事務説明
会で第4次村田町長期総
合計画及び村田町地方創
生総合戦略に沿った予算
を編成するよう指示した。

質問 農地の利用状況調
査により「遊休農地」と
判断された農地について
どのようになるのか。

町長答弁

施し、「意向を表明しな
い」場合は、農地中間管
理機構と協議すべきこと
を勧告することになる。

農業委員会局長答弁

今回の法改正では、農
地最適化推進委員が、農
地所有者に支障除去を指
導することになる。

企画財政課長答弁

まさにそのとおりだ。
29年度を視野にいれ、全
体的な交付制度を含めて、
前向きに検討する。

町長答弁

本町「道路ネットワー
ク検討会」の意見もまと
まりつつあることを踏ま
え、町として取組の加速
をしつかりと考えていく。

追質問 「遊休農地」に
ついては、病虫害発生の
原因となり、付近の圃場
では當農に支障をきたす
ことになるが、所有者に
個人で言えないのが現状
である。対策はないのか。

については、病虫害発生の
原因となり、付近の圃場
では當農に支障をきたす
ことになるが、所有者に
個人で言えないのが現状
である。対策はないのか。

いる協働のまちづくりの
活動の拠点となるのが各
地区の集会所だとと思う。
集会所の運営については、
どの地区も財政的に厳し
くなつており、集会所運

営助成金の見直しが必要
と思うが、町長の考えを
聞きたい。

追質問 「遊休農地」に
ついては、病虫害発生の
原因となり、付近の圃場
では當農に支障をきたす
ことになるが、所有者に
個人で言えないのが現状
である。対策はないのか。

追質問 町内幹線道路網
の整備（高田閑場線の先
線整備も含めて）について
て今までの定例会でも数
多く取り上げられてきた
が、29年度予算編成方針
に入れないので。

追質問 遊休農地に作物
を作付けする場合、雑草
の除去作業に多くの時間
と労力が必要になるが、
省力化に向け、ハンマー
ナイフ型刈払機（モア）
等の導入助成の支援を、
耕作放棄地の解消と農地
の有効活用にも必要と思
うが伺う。

追質問 遊休農地に作物
を作付けする場合、雑草
の除去作業に多くの時間
と労力が必要になるが、
省力化に向け、ハンマー
ナイフ型刈払機（モア）
等の導入助成の支援を、
耕作放棄地の解消と農地
の有効活用にも必要と思
うが伺う。

企画財政課長答弁

まさにそのとおりだ。
29年度を視野にいれ、全
体的な交付制度を含めて、
前向きに検討する。

ズバリ町政を問う

一般質問



地方自治と竹の内産廃事案を総括する

佐藤正隆議員

宮城県や村田町がしっかりとした基礎自治体であつたなら、竹の内産業廃棄物最終処分場事件（以下、竹の内）など起きなかつた。

私は竹の内しか言わな
い議員ではなく、何ゆえ
この町に、ここまで前の
近代が温存され、自治や
進取が行われないのか、
諦めきれないで今に至っ
ているのです。

その近代化の課程を照
らす格好の教材として私
たちの前に竹の内事案が
横たわっています。これ
は、その初期から宮城県
と村田町が関わって汚染
度全国一にまで成長させ
てしまつた大不祥事件。
まず、以下について伺い
ます。

質問1

竹の内が全国有数の汚
染産廃場で、それにふさ
わしい浄化策を施されて
いると思つていますか。

やつとの思いで評価委
員会を地元に誘導し、現
場の空気の中で、最終的
な土地の思いを伝えよう
と目論みました。あの
やり方で私たち村田町の
思いが県当局に通じたと
思いますか。

それは、本町でいま話
題になつてゐる自治後進
事案を言い繕う担当課の
苦渋を隠した顔とは対照
的で、この時代に自分が
関わつた町おこし施策の
手応えを語る自治体の職
員の晴れがましさを、本
町の職員にも感じてもら
いたい。

おこしに繋がると早くか
ら施策し、少なからぬ定
住者を呼び込み、先の見
通しに一定の手応えを得
つつあると言つてください。

明瞭にして早急に取り
組むべきだと思いますが、
これについての心づもり
お聞かせください。

町長答弁

質問3

竹の内事件の調整者は
誰ですか。最終的に町長
が考える「竹の内軟着陸
点」とは何ですか。

次に、まず「地方自治
の根本精神は、悲しみの
分かち合いである」と、
先に行われた岐阜県川辺
町、長野県高森町などを
訪れた行政視察研修で、
得てきた箴言をお土産に
披露します。

質問4

先進視察地でいつも感
じることは、その町の自
治を推進する首長の人と
なりが伺える町のたたず
まいと、その補助員とし
ての職員らの矜持のまぶ
しさです。

ある本町と同規模の町
では、育児・教育環境の
充実が住民の定着と、町
自治後進事案は、計画を

町長には是非にも、己
を空しゆうして多くの人
に交わり、多くを学び、
行うことを心がけて欲し
いと思って研修から帰り
ました。本町の自治のあ
り方について、改めて町
長の考えをお聞かせくだ
さい。

質問5

自治後進事案の進め方
についても、個々の事案
を指して何時いつまでと
期限を切つて言うことは
ひかえますが、近々には
具体的な話としてお示し
できるよう検討を進めて
います。

ズバリ町政を問う

一般質問



1. 小中学生を対象に 「ジュニア救命士」の育成と認定を 2. ふるさと納税の返礼品の拡大と取組状況について

菊地睦夫議員

1. 小中学生の「ジュニア 救命士」の育成と認定を

最近、国の要綱改正により救命講習の対象年齢が引き下げる、小学校でも救命講習が可能になりました。

全国では心臓突然死により、毎年約6万人が命を落としている状況です。

そのために命の大切さや、救命法の重要性を幼少期より根付かせようと、心臓マッサージのやり方やAED（自動体外式除細動器）の使い方を学んだ小中学生を「ジュニア救命士」として認定している自治体があります。

全国で最も早く平成22年から山形県村山市が、そして最近では秋田県大館市が制度化し、講習を終了した児童に「君の努力が命を救う」と記した名刺サイズの認定書を手渡しているとのことです。

世界一の救命都市と言われているアメリカのシ

アトル市では、救命率が

30%以上で、幼稚園児から救命講習がなされています。ちなみに日本の救命率は5%未満です。

また、ある市の広報には「突然倒れたお父さんは「突然倒れたお父さん

を子どもが助けたと言う

話を聞いて、自分も勇気を出して実行したいと思いました」、「人が目の前で倒れたら、まずは大きな声を出して助けを呼びたいです。AEDはスイッチを入れるだけで、

音声が次にやることを教えてくれるので、とても簡単にできました」と救命講習を受講した小学生の声が載っていました。

本町では保健の教科書に「心肺蘇生法やAEDの操作方法」が載っており、「命の大切さ、応急措置による救命」について学んでいます。

授業の中に取り入れられるかが今後の研究課題であります。しかし、長期休みや消防本部での講習会については、保護者や児童生徒に対する案内により、自主的な受講の奨励は行っていきたいと思っております。

質問 この様なことから、本町においても小中学生を対象とした、仮称「ジュニア救命士」育成認定

の取り組みが学校でも必要だと思いますが、教育長の考え方を伺います。

教育長答弁

平成28年8月に「応急

手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱」の

一部改正により、対象年齢が小学生の中高学年まで引き下げる、仙南地域広域消防本部でも「救命入門コース」の講習会を実施しています。「救命に対する意識づけ」や「命の大切さと応急手当の必要性を理解してもらう」という取り組みは非常に有効な手段であると思思います。本町での小学校では保健の教科書に「心肺蘇生法やAEDの操作方法」が載っており、「命の大切さ、応急措置による救命」について学んでいます。

町長答弁

平成20年度の税制改正

によって導入された、ふるさと納税制度の寄付の拡大については昨年6月より、インターネットサイトで返礼品の充実とP.Rを行っています。

現在は既存の商品ですが、ふるさと納税は本町の貴重な財源であり、今後は商工会、関係者と相談し、より一層、力を入れて商品開発を行い本町の魅力や情報を発信して村田町のファンとリピーターを増やすよう施策を考えています。

質問 そこで本町でも生き残りをかけて、ふるさと納税の取り組み状況と今後の意気込みについて町長の考え方を伺います。

本年3月定例会の一般

2. ふるさと納税の取り組み状況について

本年3月定例会の一般

平成28年度 町村議会広報研修会

議会広報編集審査特別委員会

委員長 高橋 勝

研修地

東京都 砂防会館

研修期日

10月26日

出席者

議員6人

研修内容

①伝わる文章の書き方

②読まれて、伝わる議会広報紙

③第30回広報コンクール紙面クリニ

ック優秀賞受賞紙から学ぶ企画編集

「伝わる文章の書き方」では短く

書く、重複を省く、具体的に書くこ

とが重要であると改めて認識した。

また、「読まれて、伝わる議会広

報紙」では、読みやすさだけを求め

のではなく、読者との関係性がわ

かる内容として、読者は手に取つてくれるということである。「と

つつきにくい」、「読む気にならない」、「自分とは関係ない」をむら

たまち議会だよりから無くす努力を

しなければならないと考える。

「広報コンクール紙面クリニック

最優秀賞受賞紙から学ぶ企画編集」

では、町民の方に紙面に写真を含め
参
加
いた
だ
く
こと
の
重
要
性
を
強
く
感
じ
た。

今の時代は新聞、テレビ、インターネットで情報が氾濫している。そ
の
中
で
む
ら
た
ま
ち
議
会
だ
よ
り
を
読
ん
で
い
た
だ
く
た
め
に
は
相
当
の
努
力
が
必
要
と
思
う。
少
子
高
齢
化
が
進
む
中
、
読
者
の
対
象
に
合
わ
せ
た
内
容
と
企
画
を
念
頭
に
、
編
集
作
業
を行
つ
て
い
き
た
い。

第9回開催

日 時 9月21日（水）

場 所 議員控室

（審議事項）

①特別委員会研修の振り返り

②今後のスケジュールについて

③議員定数について

④議員報酬について

（委員会決定）

・議員定数・報酬については継続審

議とする。

第10回開催

日 時 11月7日（月）

場 所 議員控室

（審議事項）

①議員定数について

②議員報酬について

③議会だよりの掲載について

（委員会決定）

・議員定数・報酬については継続審

議とする。

・継続して議会だよりに掲載する。

・次回以降、別項目の審議を進める
こととする。

議会改革調査特別委員会

日 時 12月13日（火）

場 所 議員控室

（審議事項）

①議會報告会について

②議員間自由討議について

③政治倫理条例について

（委員会決定）

・議會報告会、議員間自由討議、政
治倫理条例は継続審議とし、次回に
結論を出すこととする。



～先進地を視察し本町の町政に活かします～

平成28年度村田町議会 行政視察研修 議員レポート

議会運営委員会委員長 村上 登

長浜まちづくり会社での研修



【視察研修地】

①滋賀県長浜市
長浜まちづくり会社

②岐阜県恵那市
岩村歴史の町並み

③岐阜県中津川市
ちこり村

④長野県高森町議会

⑤岐阜県川辺町議会

⑥愛知県豊田市
三州足助町並み

【視察結果】

①長浜まちづくり会社

衰退傾向にあつた長浜市

内中心部の活性化を図るた

め、官民一体となつて取り

組んだ成果により、中心市

街地は観光客で賑わいを見

せている。会社運営のため

周辺の駐車場収入を安定収

入としている点は参考にな

った。

域密着型の企業として営業を行つてゐる。本町においても耕作放棄地問題や高齢化率の現状を踏まえ、民間

化率による諸問題の解決策

の検討も必要と感じた。

議会双方とも極端な合理化や効率化が図られているが、住民サービスの低下も懸念されるものと感じた。

④高森町議会

高森町は人口及び予算規模が本町と類似する。子育て環境に入れ、産科医の招へいや子育て支援施設

建設への取り組みが特徴的である。議員定数は15人、

本町同様議会改革が議論されており、各種団体や住民との意見交換では様々な意見が出され、議会内の結論

を出すにも相当な時間を要

していることが伺えた。

が、駐車場が少ないので、駐車場が少ないのも要因の一つとみられる。地域の資源を活かした賑わいの創出には、多くの時間と労力を費やす必要があると思われた。

⑤川辺町議会

高森町同様、川辺町は本

町と人口及び予算規模が類似する団体である。議員定

数は9人、議会改革を推進めているが、一方で議員の空白地帯が存在し、住民

の雇用確保の観点から、地

⑥三州足助町並み

平成23年6月に重要伝統的建造物群保存地区の選定

を受けた地区である。景勝地である香嵐渓の付近であ

るにもかかわらず、観光客の流れがあまり見られない

が、駐車場が少ないので、駐車場が少ないのも要

因の一つとみられる。地域

の資源を活かした賑わいの創出には、多くの時間と労

力を費やす必要があると思われた。

②岩村歴史の町並み
のあり方について一つの指標になるものと考へる。

③中津川市ちこり村

西洋の高級食材である「チコリ」の国産化を目指し、

日本の食の安全と食糧自給

率、耕作放棄地問題や地域

の雇用確保の観点から、地

の意味が伝わりにくくなど

の話も聞かれた。執行部、

総務民生常任委員会

○調査結果

① 村田町消防団の現状について

消防施設、資機材等については区域ごとに消防施設の整備建設に取り組み、消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ付積載車の更新を行い、団員一人ひとりの意識の高揚と、より一層の団結力を深めるため、全団員に新たな活動服及び編上靴を貸与した。さらに、防災行政無線デジタル化整備事業を行なう等、消防力充実に取り組んできた。

消防団員の減少について、入団対象の年齢層からの入団者確保が難しくなつてお

り、本町のみならず、全国的に問題視されている。

2. 村田町自主防災組織の現状について

大規模災害発生時は、民自らが「自らの身・地域のものと行動することが必要である。

住民自身が災害に対する知識を持ち、防災資機材を円滑に活用できる自主防災組織の設立に取り組んでい

○委員会所見

① 村田町消防団の現状について

消防団は46歳であり、その状況を改善するために、消防団員を増員した先進地域の事例を参考しながら村田町消防団と協議を重ね消防団員の人員確保に努めてほしい。

自主防災組織については、町の指導のもと21行政区のうち14の自主防災組織が設立されたことは大いに評価できるものである。残りの行政区については、その地域性等により難しい面もあるとは理解するものの、これからも設立に向けた指導に期待するものである。また、設立後もそれぞれの自主防災組織に對して必要な資機材の配付や災害に対する知識を指導し円滑な活動を支援するよう、強く要望したい。

産業建設教育常任委員会

○調査結果

① 社会教育の振興について

① 少年教育

イキイキ楽習（がくしゅう）

ポイント事業

小学生を対象に実施する

体験事業や学習講座に「楽

習ポイント」を設け、楽し

く学べる学習機会を提供す

ることで、子どもたちの学

ぶことへの動機づけや意欲

の向上を図る。

② 協働教育

むらたつ子応援団事業の推進

少子化による人口減少問題

の深刻化に対応するため

、市町村が主体となって

、地域社会の活性化と

、子育て支援の充実を目的

として、子供たちの成長

と地域社会の発展を

連携して取り組む事業

として、子供たちの成長

と地域社会の発展を

連携して取り組む事業

古文書目録の作成

① 古文書目録の作成

大沼正七家文書の目録作成を奥羽史料調査会へ委託、江戸時代から戦後にかけて

の関係文書、帳簿、手紙、はがきなど1点ごとに目録作成し、今年約2千点を予定。

議会日誌

- 11/ 7 第10回村田町議会改革調査特別委員会
全員協議会
宮城県町村議会広報研修会(仙台市)

11/ 9 平成28年全国議長大会・県選出国会議員との
意見交換会(東京都)

11/16 行政視察研修(1日目)(滋賀県)

11/17 行政視察研修(2日目)(岐阜県・長野県)

11/18 行政視察研修(3日目)(岐阜県・愛知県)

11/25 全員協議会
宮城県町村議會議長会議(仙台市)

11/29 仙南地域広域行政事務組合議会視察研修
(角田市)

11/30 議会運営委員会

12/ 6 第6回村田町議会定例会本会議(1日目)

12/ 7 第6回村田町議会定例会本会議(2日目)

12/13 第11回村田町議会改革調査特別委員会

12/19 仙南地域広域行政事務組合議会運営委員会
補正予算等説明会(大河原町)

12/21 仙南・亘理地方町村議會議長会議長会議
(山元町)

12/26 仙南地域広域行政事務組合議会定例会
(大河原町)

1/ 6 平成29年新春顔合わせ会(中央公民館)

1/12 議会広報編集審査特別委員会

1/20 議会広報編集審査特別委員会
宮城県町村議會議員講座(仙台市)

1/24 議会広報編集審査特別委員会
後期高齢者医療広域連合議会全員協議会
(仙台市)

1/25 仙南地域広域行政事務組合議会全員協議会
(大河原町)

1/27 みやぎ県南中核病院新改革プラン策定委員会
(大河原町)

1/30 第12回村田町議会改革調査特別委員会
山形県大石田町議会視察研修のため来町
大河原町議會議員研修会(大河原町)

発行・編集責任者
議長 大沼克巳

議会広報編集審査特別委員会

勝 隆夫 隆博子
正 睦吉 保敬



平成29年 村田町成人式（1月8日）



齋藤さきさん（小泉中）が1月23日に
満100歳の誕生日を迎えられました

**寒中お見舞い
申し上げます**

村田町議会議員一同

※公職選挙法により、政治家（候補予定者含む）は、答札のための自筆によるものを除き、年賀状、暑中見舞状など時候の挨拶状を出すことが禁止されております。

**次の定例会は
3月7日より開会予定です**

本会議の様子をインターネット中継で配信します。

村田町ホームページアドレス(下記)より
<http://www.town.murata.miyanagi.jp/>
コンテンツ「議会」から「議会中継」へアクセスしてください。

本会議の日程については、町ホームページの「[本会議開催予定表](#)」でお知らせしています。

「本会議開催予定表」でのお知り合いであります。
議会を傍聴しませんか
議会はどなたでも傍聴できます〔定員22人〕

詳しくは議会事務局まで TEL83-6410

■ 村田町は、四季に合わせて各種行事があります。籬めぐり・蛇藤まつり・布袋まつり・陶器市・そば祭り等。そして毎年、町外からもたくさんの方々が村田町を訪れてています。今年も歴史や文化、景観、食を求めて多くの方が来町してくれることと期待しています。迎え入れる私たちはありのまま、気持ちを込めて歓迎したいと思います。

■ むらたまち議会だよりは定例会ごとに年4回の定期発行です。一方通行との御批判もありますが、町民の期待に応えられるように絶えず努力をしていきます。

編集後記